

小作取水堰

小作取水堰は、羽村取水堰の上流約2キロメートルに位置し、山口貯水池へ原水を導水するための施設です。伝統的な投渡堰の構造をもつ羽村取水堰とは異なり、鋼製門扉で構成された近代的な取水堰です。

堰は、洪水吐門扉4門と土砂吐門扉1門の計5門で構成され、両岸に魚道を設けています。

取水した原水は、左岸に設けた沈砂池を経由し、小作山口線導水路により埼玉県所沢市の山口貯水池(狭山湖)へ導水しています。

また、各門扉に機械室を設け、それらを管理橋でつないでいます。各門扉は、ローラゲート上部に取り付けたフラップの転倒角度を変え、取水口の水位を一定(1.8メートル)に保つように自動制御しています。

洪水により水位が上昇する場合は、ゲート本体を引き上げて多摩川の流れを阻害しないようにしています。



小作取水堰・管理橋

